

〔科目名〕 人事管理論 I	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 基幹科目
〔担当者〕 中川宗人 NAKAGAWA Muneto	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業内で提示する 場所: 505 研究室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 人事管理は企業の経営目標達成に貢献するために、ヒトが担う労働・サービスをより良く発揮できるように働きかける活動です。社会・経済の変化に伴って企業経営や人々の働き方も多様化し、人事管理のあり方も複雑になってきています。学問としての人事管理論は、こうした現代の人事管理を科学的に調査・研究し、望ましい人事管理のあり方を構想しようとする分野です。この人事管理論 I では人事管理の基礎的な内容を扱います。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 人事管理は経営管理を構成する一機能ですが、労働時間や賃金といった事項を扱うことから、何らかの組織で働く人すべてにとって身近な科目です。また現在の人事管理に関する戦略は、経営戦略とも密接に関わり、企業の将来をますます左右するようになっていきます。例えば、現在の重要な経営資源の一つである情報は、企業で働くヒトが重要な担い手となっています。人事管理論は、労働条件といった身近な事柄だけでなく、企業の行動や経営学についてより深く理解する手がかりとなります。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <ul style="list-style-type: none"> ・企業経営における人事管理の基本的な機能について説明することができる。 ・日本企業の人事管理制度の特徴について正確に説明することができる。 ・人事管理の個別の事項について、基本的な知識を説明することができる。 		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <ul style="list-style-type: none"> ・しゃべるスピードや音量についての希望が多かったので、聞き取りやすい説明を心がけます。 ・スライドや資料はできるだけ事前にオンラインで配布するように心がけます。 		
〔教科書〕		
〔指定図書〕 佐口和郎(2018)『雇用システム論』有斐閣 平野光俊・江夏幾多郎(2018)『人事管理』有斐閣		
〔参考書〕		
〔前提科目〕 なし		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 中間テストと期末テストの合計で行います。 詳細は授業内で説明します。		

<p>〔評価の基準及びスケール〕</p> <p>学生便覧の評価基準に準拠します。</p> <p>A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:50点以上 F:50点未満</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>日頃から雇用・労働に関するニュースに関心を持ち、授業で得た知識を活かして疑問を発する習慣を養ってください。</p>	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>該当なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか):イントロダクション</p> <p>内 容:授業の概要、進め方、成績評価などについて説明します。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか):総論:人事管理の機能と歴史</p> <p>内 容:企業経営全体における人事管理の機能と歴史について学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか):総論:人事管理の理論・学説</p> <p>内 容:人事管理についての重要な理論・学説について学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか):総論:労使関係と労働法政策</p> <p>内 容:人事管理を制約する主要因である労使関係と労働法システムについて学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):総論:日本企業の人事管理制度</p> <p>内 容:日本企業に独特な人事管理慣行の特徴とその捉え方について学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):各論:採用</p> <p>内 容:人事管理の個別の機能について学んでいきます。 労働者の採用の機能と制度について学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):各論:配置と異動</p> <p>内 容:労働者の配置や異動の機能や制度について学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):各論:教育訓練</p> <p>内 容:労働者の能力開発の意義と機能、そのための教育訓練制度について学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):各論:評価と昇進 内 容:労働者のパフォーマンスの評価と昇進管理の機能と制度について学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):各論:報酬 内 容:人事管理制度のなかでも重要な報酬制度について学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):各論:雇用調整・退職 内 容:雇用調整・退職の機能と制度について学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):各論:労働時間 内 容:労働条件のなかでも重要な労働時間管理について、日本の実態もふまえて学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):各論:福利厚生 内 容:報酬とあわせて重要な事項である福利厚生の機能と制度について学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):各論:非典型雇用 内 容:企業を構成する労働力のうち、重要性を増している非典型雇用の管理について、日本の実態もふまえて学びます。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):まとめ 内 容:授業全体のまとめ、期末テストの解説、人事管理論Ⅱの案内などを行います。</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	